2026年11月18日

各　位

会 社 名：**フ　ジ　日　本　株　式　会　社**
代表者名：代表取締役社長　　曾我　英俊
（コード番号　2114　東証スタンダード）
問合せ先：執行役員 財務経理室長
杉山　伸
（TEL. 03-3667-7811）

連結子会社（ユニテックフーズ株式会社）の株式上場承認及び当社所有株式の一部売出しに関するお知らせ

本日、株式会社東京証券取引所より、当社の連結子会社であるユニテックフーズ株式会社（以下「ユニテックフーズ」）の普通株式（以下「ユニテックフーズ株式」）の東京証券取引所スタンダード市場への新規上場が承認されましたので、以下のとおりお知らせいたします。なお、東京証券取引所スタンダード市場への上場日は2026年12月22日（火）を予定しており、同日以降は、同取引所においてユニテックフーズ株式の売買が可能となります。

また、本上場承認を受け、かかるユニテックフーズ株式上場に際し、当社が所有するユニテックフーズ株式の一部売出し（以下「本売出し」）を行うことを当社の取締役会にて決定しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

１．ユニテックフーズの上場について

（１）当社グループにおけるユニテックフーズの位置づけ

当社グループは、「私たちは、『夢のあるたくましい会社』を目指し、健康な生活づくりに貢献します。」という企業理念のもと、「食を科学し世界をパワフルに！」というパーパスを掲げ、世界で闘うフードサイエンスカンパニーを目指しております。

ユニテックフーズは、「素材を活かし、技術を活かし、笑顔を作る。」をミッションに掲げ、ゲル化剤・増粘多糖類を中心とした素材の販売および加工製品の製造・販売、ODM開発、商品開発コンサル等、テクスチャー改良剤領域で豊富な経験と実績に基づくノウハウでお客さまのニーズに応えております。

ユニテックフーズは、当社グループの機能性素材事業において大きなポーションを占める重

要な子会社です。機能性素材事業はフジ日本グループにとって重要な成長分野であり、ユニテックフーズが同セグメントを牽引する中核企業であります。

また、当社グループの機能性素材事業では、当社及びFuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.が水溶性食物繊維「イヌリン」の製造販売を担う一方、ユニテックフーズはテクスチャー改良剤領域で素材の販売、ODMやコンサルタントのソリューションを提供する事業であることから、グループ内での直接的な競合は生じておりません。

（2）上場の目的

ユニテックフーズは、2002年創業時より「食のソリューション企業」を志向し、まずは食品テクスチャーを改良する素材販売により商社的機能を拡大して事業基盤を確立いたしました。 2014年からは自社でのブレンド製剤開発によりメーカー的機能を獲得し、独自のテクスチャー創出へとソリューションの幅を広げております。近年は商品開発に一気通貫で伴走するコンサル的機能も拡充しており、食品テクスチャーを軸とした提供価値をより一層「深化」させております。

このたびの株式上場を通じて、高い独立性と経営の透明性を確保し、株式市場からの規律と正当な評価を受けることで、優秀な人財の確保、社会的認知度の向上が期待されます。迅速かつ機動的な意思決定体制により、独立した企業として独自の成長戦略を推進し、中長期にわたる持続的な成長と企業価値向上を実現することで、当社グループの将来の企業価値向上に大きく貢献するものと考えております。

なお、当社所有の同社株式売り出しで得た資金は、フジ日本の中期経営計画CHANGE 2028における戦略骨子、１）海外事業の推進、２）新規事業領域の拡大、３）持続的成長を実現する積極投資、に基づき設備投資及びM&A資金として充当いたします。

（3）上場後の当社との関係及び株式保有方針

当社は、株式市場における流動性の確保及び需給バランスに配慮しつつも、当面の間、引き続き本上場後もユニテックフーズを連結子会社とする株式保有比率を維持します。ユニテックフーズの自律的な成長フェーズに合わせて段階的に保有比率の見直し（追加の売出し等）を行っていくことが、ユニテックフーズの市場評価の最適化と中長期的な企業価値向上に資すると判断しております。

当社は、ユニテックフーズの独立性を尊重し、より自律的な経営を行うことを支持しており、またユニテックフーズが、上場を通じ、企業価値向上を実現していくことを期待しています

２．ユニテックフーズの概要

（1）名称	ユニテックフーズ株式会社
（2）所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町14-4

（３）代表者	代表取締役社長　大橋 高弘
（４）事業内容	食品素材の販売、食品素材加工品の製造・販売、ODM、商品開発コンサルティング
（５）資本金	300 百万円（2026 年 11 月 18 日現在）
（６）設立年月日	2002 年 4 月 1 日

３．上場に伴うユニテックフーズ株式の募集及び売出しの概要

（１）公募による募集株式の発行　300,000 株

（２）引受人の買取引受による株式売出し　1,507,900 株

（３）オーバーアロットメントによる株式売出し　271,100 株（上限）

（４）受渡期日　2026 年 12 月 22 日（火）

４．当社の保有株式数及び保有割合

（１）現在の所有株式数 6,000,000 株

（所有割合 100.0% 発行済株式数 6,000,000 株）

（２）上場に伴う新株式発行後の所有株式数 4,492,100 株

（所有割合 71.3% 予定発行済株式数 6,300,000 株）

※ 所有割合は、発行済株式の総数に対する所有株式数の割合です。

※ 上場後の所有株式数には、オーバーアロットメントによる株式売出しは含まれておりません。

５．子会社等の上場に対する考え方

当社では、グループ会社の株式上場の意義（株式市場での評価を受けながら、顧客や取引先、従業員等のステークホルダーとの良好な関係を保ちつつ事業に取り組むとともに、少数株主の利益に配慮した自律的な経営を行うことが各社の事業の成長・企業価値の向上、ひいては当社グループの全体の企業価値の向上に資する点）を個別に判断することとしており、現時点では、ユニテックフーズ以外の当社グループ会社の上場予定はありません。

また、当社は、上場子会社が中長期的に企業価値を向上し、少数株主や当社を含むすべての株主の共同利益を最大化させることが重要であると認識しています。出資先管理等を目的として「関係会社管理規程」を定め、関係会社等を含め子会社・関連会社における重要な意思決定等に関しては、当社への事前承認または報告を求めておりますが、上場子会社については、当該上場子会社の独立性に影響を与えるような事前承認を求めることはしておらず、当社が各社の意思決定を不当に拘束することがないよう配慮しています。

６．今後の見通し

本上場後も、ユニテックフーズは連結子会社であり、本件が連結業績に与える影響は軽微であります。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以　上

ご注意：この文書はユニテックフーズ株式会社の東京証券取引所への新規上場承認及び当社所有株式の一部売出しについて一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ずユニテックフーズ株式会社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。